

平成19年(昭和82年)5月15日(火)

東海の古代

第 83号 編集・発行 古田史学の会・東海

代表 林 俊彦 〒461-0025 名古屋市東区徳川1-729

ホームページ: (「古田史学」で検索しても見つかります)

<http://geocities.jp/furutashigaku-tokai>

メール: frrtokai@zm.commufa.jp

電話/FAX(カラー可) 052(936)5012

郵便振替 00870-5-30752

今年の九州旅行は気象予報の警告に拘わらず参加者の日ごろの心がけの良さを証明しました。まずはその行程を紹介します。

第一日

初日の主テーマはクマナリさんを探せ、です。

■岡湊神社

まずは仲哀紀に登場する大倉主命・菟夫羅媛命をまつる神社です。なんじゃもんじゃの満開の花が出迎えてくれました。

■西円寺

岡山主熊罥の子孫が住むというお寺に行きました。熊罥第93代という住職さんの奥さんが畑仕事をしていて話を聞くことができました。裏山に剣などを出土した穴があるということで、出入りの職人さんが竹を切り落としながら道を切り開き案内してくれました。

この裏山は前方後円墳だ、という説があるのですが確認はできませんでした。

■高倉神社

岡湊神社の上社にあたる神社。祭神は同様ですが、初代神主の伊賀彦を祭るのが目をひきました。

■鹿毛馬神籠石

100 石にも満たない山の9合目に1700余個の切石が2.2kmにわたって並べてあります。他の神籠石に比べ、異常とも思える低い位置にあるのが不審です。交通の要地にあたるのか、

という疑問もわきます。なんとも不思議な施設です。

第二日

中津駅近くのビジネスホテルに宿泊した一行はまず駅近くの史跡で足慣らししました。

■中津神社

古代史にはあまり関係ないと思いますが、とりあえず中津市の代表的施設に表敬訪問。

■八幡古表神社

宇佐神宮を中心とする宗教圏の一端を担う神社。クグツによる細男舞・神相撲で有名な所。神主の奥さんに歓待を受け、甘夏の実をくりぬき寒天で固めて皮に戻したお菓子まで食することができ、感激でした。息子さんは熱田神宮で修行されたとか、ご縁を感じます。

■大分県立歴史博物館

すでに振り出した雨に追われるように博物館へ。展示された土偶や、ナマハゲに似た行事を伝える大分県の民俗に、東北との意外な近さを感じました。館外には赤塚古墳群が広がるのですが、誰も見学しようとはしません。

■宇佐神宮

この日の主テーマです。赤い呉橋(通行禁止)を眺めながら境内へ。伊勢神宮にも負けない社殿の規模です。元来の座地と思われる大元(御許)山を遥拝する一角もありますが、雨にけぶってはっきり見えません。雨中の見学に気もなえるのか黄金の樋とか、宝物館とか観光の要所をいくつも見落とししました。

■凶首塚

昼食を食べると雨もあがっていました。畑の中に石室を露出させた古墳と思しき遺跡が、八世紀の隼人退治と関連付ける説もありますが、無関係でしょう。

■百体社

これも隼人退治の伝説を伝える神社。ワゴン車の車窓から眺めるだけでした。

■大善寺

明治の廃仏毀釈で宇佐神宮の仏教施設が窮地におかれた時、収納された仏像群があります。

寺の名に、大善寺玉垂宮との関連が期待されましたが、全然知らないそうです。

■横穴古墳(法華寺)

山道を迷走中、偶然見つけた遺跡です。古墳ではなく、山の中腹に三段にわたり五十基ほど展開する横穴墓です。

■古要神社

八幡古表神社と同様に宇佐神宮の放生会に細男舞や神相撲の神事を奉納する神社です。使用するクグツ人形を洗い清めたとする化粧井戸の遺跡は省略。

■薦神社

今は廃絶したが、宇佐神宮の行幸会にこの神社の真薦で作った枕を奉納した神社。境内の三角池がご神体と思われま

×唐原神籠石

事前の調査ではっきりした場所が分からず、現地へ行けば何とかかなと思ったのですが、見事に空振り。参加者の皆さん、すみません。

■穴ヶ葉山古墳群

かわりに近くの遺跡に寄りました。古墳時代末期とされます。

■闇無浜神社

この日最後は、万葉集に歌われる「倉無の浜」に関わる神社。

第三日

■小鳥神社

これも山道で偶然見つけた神社？鳥居や祭神説明板があるのですが、社殿のあるべき場所は中央を道路が貫通します。社名を含め謎の施設でした。

■御所ヶ谷神籠石

これまで訪れた中でもっとも立派な石組みの神籠石でした。なぜか「景行神社」が建てられています。その後礎石建物の跡が残ります。また建設途中で終わっている神籠石であることも興味をそそられます。

■香春神社

炭坑節でもなじみ深い一の岳を背後に見せる神社。本来はさらに周辺の関連施設をまわる

べきでしたが、参加者の疲労も考え先の訪問地へ向かいます。

■天照神社

天照大神を祭らない神社。ニギハヤヒを祭神とする物部系です。

■六嶽神社

三女神の降臨伝説を持つ神社。

■剣神社

これも物部系とされる神社

■古物神社

草薙剣が盗まれた時、剣霊がとどまったとされる神社。高倉神社など近隣の地にも同様な伝承があります。「太宰府管内誌」で著名な伊藤常足の生地でもあります。

雨の降り方もまた強くなってきました。今回の旅行もここまで。時間は早めですが小倉駅へと急ぎました。

6月例会に参加を

日程：6月10日(日)午後1時半～5時

場所：名古屋市市政資料館第1集会室

名古屋市東区白壁1の3(名古屋拘置所南)

地下鉄名城線「市役所」下車、東へ徒歩8分

名鉄瀬戸線「東大手」下車、南へ徒歩5分

市バス「市政資料館南」下車、北へ徒歩5分

〃 「清水口」下車、南西へ徒歩8分

〃 「市役所」下車、東へ徒歩8分

一応、駐車場有(無料)12台収容

南隣にウィルあいち(愛知県女性総合センター)／地下駐車場30分170円

参加費：500円(維持会員は無料)

今後の予定

7月例会：7月8日(日)

8月例会：お盆で休み(日帰り旅行を予定)

例会は原則として毎月第2日曜日です。会場は当分資料館で固定するつもりです。ただし予約の都合により部屋が変わる場合があります。よく確認してからお出かけください。

古田先生とその学問に興味のある方ならどなたの参加も歓迎します。また参加に際し事前連絡は不要です。遅刻早退もかまいません。

例会の場での研究報告、見解発表は大歓迎です。資料を配布される場合はなるべく16部用意願います。

なお8月は岐阜方面の史跡見学が提案されています。